

事業所名

ブレップ 学習サポートセンター横浜

## 支援プログラム

作成日

2024

年

12

月

1

日

法人（事業所）理念		「みんな 笑顔に」 利用者も ご家庭も スタッフも その家族も みんなで笑顔に みんなと笑顔に みんなが笑顔に											
支援方針		「認める 褒める 共に喜ぶ」 利用者ひとり一人の強みを活かし、個性を尊重し、伸び伸びと楽しく過ごせる居場所づくり											
営業時間		放課後	14	時	0	分から	18	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休業日	10	時	0		16	時	0				
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	<p>○健康状態の把握： 来所時に検温にて体調観察を行い、体調不良時の把握をするとともに、自らの体調を常に意識できるように支援する。</p> <p>○健康の増進： 集団活動において体操やダンス等に取り組み、体力の維持および運動能力の向上を目指す。おやつや昼食時に咀嚼・嚥下、姿勢保持に気を配り、必要に応じて食具の使い方も支援する。祝日を利用したイベントで、調理実習を行い、食育への意識を高める。</p> <p>○基本的な生活スキルの獲得： 個別活動の中で、自立に向けた取り組み・片付けや整理整頓、持ち物管理、おやつ後のお皿洗い、身だしなみを整える等の習慣をつけるための時間を確保する。</p> <p>○構造化により生活環境を整える： 当日の流れをスケジュールボードや送迎ボードで示し、把握しやすくする。さまざまな遊びを通して生活スキルを習得できるよう環境を整える。</p>											
	運動・感覚	<p>○姿勢と運動・動作の基本的技能の向上： 椅子や机を用いて正しい姿勢を習得するなど、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や、運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化などを図っていく。</p> <p>○保有する感覚の活用： ボール遊びや集団活動での遊具や器具を組み合わせたサーキット・ゲーム等を通して、保有する視覚、聴覚、触覚などの感覚が十分に活用できるようにする。</p> <p>○体操やダンスなど楽しく運動ができるよう、状況（屋内・屋外・広さ・安全の確保）に合わせた支援を行う。</p>											
	認知・行動	<p>○感覚や認知の活用： 視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用して必要な情報を収集しやすいよう、色、音、絵や文字、道具を用いて、認知機能の発達を促す支援を行う。集団活動では、音楽やリズムを使って五感を刺激する支援も行う。また、季節に合わせた工作やカレンダー作りを行い、文具（ハサミ、のり等）の使い方も上達させる。</p> <p>○知覚から行動への認知過程の発達： 集団活動やグループ活動の中で情報を取得しやすいように、絵カードやルール表を用いて「見える化」を図り、必要なメッセージを自ら選択し、行動につなげられるよう一連の認知過程の発達を支援する。</p> <p>○数量、大小、色等の習得： 折り紙やレゴ(ブロック)、アイロンビーズ、ダイヤモンドアートなどを用いて作品を制作することにより、手指の使い方や認知機能を高めていく。</p>											
	言語 コミュニケーション	<p>○言語の形成と活用： 「集まりの会」等で、日直の機会を設ける。長期休暇明けには、経験したことを発表する等、具体的な体験を言語化する支援を行う。</p> <p>○人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得： 経験したことや考えたこと等を自分なりの言葉で表現し、会話のキャッチボールが出来るように支援していく。集団活動では、クイズやかるた、カードゲームにより、語彙を増やし、人とのやり取りの楽しさを学び、コミュニケーション能力の向上に役立てる。</p> <p>○読み書き能力の向上のための支援： 絵本や紙芝居の読み聞かせにより聞く力を身につけ、音読により発声の仕方を再認識させる。また、作文作成や絵本作りをする事で、書く力も身につけていく。</p>											

	人間関係 社会性	<p>○アタッチメント(愛着行動)の形成： 話す、聞く、触れるなどのコミュニケーションを通して、人との関係を意識し、身近な人との関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。</p> <p>○自己の理解とコントロールのための支援： 指導員は子どもの特性を理解し、一人ひとりに合わせた声掛けや行動支援を行い、気持ちや感情の調整ができるように支援する。</p> <p>○集団活動(活動プログラム)参加への支援： 集団活動で、正しく指示を理解し、行動できる社会性を身につける。高学年はソーシャルスキルトレーニング(SST)も行い、公共のマナーやルールも学んでいく。</p>	
	家族支援	<p>○子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助</p> <p>○家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助</p> <p>○レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援</p> <p>○兄弟姉妹への相談援助等の支援</p> <p>○子育てや障害等に関する情報提供 等</p>	移行支援 <p>○具体的な移行又は将来的な移行を見据えて支援目標や支援内容を設定する。</p> <p>○進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助を行う。</p> <p>○併行利用先や学校等と子どもの状態や支援内容についての情報共有や支援内容の擦り合わせ等の連携支援を行う。</p>
	地域支援・地域連携	<p>○子どもが通う学校や医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取組を行う。</p> <p>○子どもに支援を行う地域療育センターや地域生活支援拠点等との連携の取組を行う。</p> <p>○子どもが利用する相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携の取組 等</p>	職員の質の向上 <p>各種研修への参加と実施</p> <p>○支援の方針・対応方法の考え方(冰山モデルについて)</p> <p>○「訓練」「教育」「療育」を考える</p> <p>○子どもの発達を考えよう(知的な発達、知能心理検査について)</p> <p>○虐待防止研修 等々</p>
	主な行事等	<p>1月 新年会(ビンゴ大会などのお楽しみ会)、 2月 節分鬼退治・お出かけイベント、 3月 ひな祭り・卒業お祝い会・お花見、 4月 入学お祝い会・お出かけイベント、</p> <p>5月 こいのぼり製作、 6月 梅雨製作、 7月 七夕・お出かけイベント、 8月 コンサート鑑賞・夏祭り・映画鑑賞会・お出かけイベント、 9月 お月見製作・調理実習、</p> <p>10月 お出かけイベント・ハロウィン、 11月 コンサート鑑賞・調理実習、 12月 クリスマス会 等々</p>	